

本書で使用した和名は、八木沼 (1960) を基本とし、以降は最初に発表された和名と、先に多く使用されていた和名を優先した。問題のある和名については下記に示した。

\*文献により使用が異なる種和名

●ヒメグモ

*Achaearanea japonica* (Bösenberg & Strand 1906)

吉田 (2003) は本種の和名をニホンヒメグモに改称している。改称の理由は属が *Theridion* (ヒメグモ属) から *Achaearanea* (ツリガネヒメグモ属) に転属され、和名と属名が合わない、ヒメグモは科の名前でもあり、またヒメグモ類を指すこともあり不明確であるなどを理由としている。本書ではヒメグモを使用した。理由としては、①ヒメグモの種和名は 1930 年～2006 年まで 76 年間に 1,000 以上の文献で使用されている最も一般的な和名であること。②現在まで研究上でも、500 回以上の講演会、観察会においてもヒメグモとヒメグモ類で不明確なことではなく混乱も起きていないこと。③転属により属和名と種和名が一致しなくなったことは吉田の指摘どおりであるが、属和名は通常使用することはほとんどなく、属和名を知っている研究者もほとんどいないこと。以上から、本書では広く使用されている種和名のヒメグモを残し、ほとんど使用されない属和名のツリガネヒメグモ属をヒメグモ属に改称することにした (『\*属和名の変更』参照)。

●ヤチグモ *Coelotes exitialis* L. Koch 1878

西川 (1976) は本種の和名をクロヤチグモに改称している。改称の理由は種和名のヤチグモと属和名のヤチグモ属がまぎらわしいこと、体色が非常に濃くてほとんど黒色に見えることを挙げている。本書ではヤチグモを使用した。理由としては、①ヤチグモは 1936 年～2006 年まで 70 年間に 300 以上の文献で使用されている一般的な和名であり、1976 年以降は 2 つの和名が並立して混乱を生じていること。②種和名と属和名あるいは科和名が同一のクモは他にもウズグモ、オニグモ、コガネグモ、アシナガグモなどがいるが、いずれもまぎらわしいことも、不明確なこともなく、ヤチグモについても種名、属名で混乱していることはない。③色彩につい

てヤチグモ類は多くの種が黒色に近く、色彩の濃淡による表現は適当ではないこと。以上から、本書ではヤチグモを使用した。

●テナガグモ *Bathyphantes gracilis* (Blackwall 1841)

テナガグモ (*B. Orientis* Oi) と、ダイセツテナガグモ (*B. gracilis* (Blackwall)) は同種であることが判り、学名は *B. gracilis* に統一されたが、本種は全国に広く分布することから和名はテナガグモを使用する。

●トウキョウアカムネグモ

*Ummeliata feminea* (Bösenberg & Strand 1906)

トウキョウアカムネグモ (*Ummeliata tokyoensis* (Uyemura 1941)) と、アトグロアカムネグモ (*Oedothorax femineus* Bösenberg & Strand 1906) は同種であることが判り、先取権のあるアトグロアカムネグモに統一されたが、属は *Ummeliata* に転属され学名は *Ummeliata feminea* となった。和名についてアトグロアカムネグモは 2000 年まで一度も使用されたことはなく、逆にトウキョウアカムネグモは記載以来、多数の文献で使用されていることからトウキョウアカムネグモを使用する。

●カラカニグモ *Xysticus ephippiatus* Simom 1880

本種は八木沼 (1967) により日本新記録種としてシナカニグモとして報告された種であるが、八木沼はその後和名をカラカニグモに改称した。詳細は 257 ページ参照。

\*属和名の変更

●*Uloborus* ウズグモ属⇒

→タイリクウズグモ属に変更

●*Octonoba* トウキョウウズグモ属⇒

→ウズグモ属に変更

種和名のウズグモ (旧 *Uloborus varians*, 現 *Octonoba varians*) の転属に伴い、通常使用されることの少ない属和名を変更する。

●*Theridion* ヒメグモ属⇒

→セアカヒメグモ属に変更

●*Achaearanea* ツリガネヒメグモ属⇒

→ヒメグモ属に変更

ヒメグモの転属に伴い、属和名を変更する。

COELOTIDAE F. O. Pickard-Cambridge, 1893, new rank

現在ガケジグモ科 (Amaurobiidae) に所属しているヤチグモ亜科 (Coelotinae F. O. Pickard-Cambridge, 1893) を分離して、ヤチグモ科 (Coelotidae) を提唱する。

Type Genus: *Coelotes* Blackwall, 1841

Blackwall, J., 1841. The difference in the number of Eyes. *Trans. Linn. Soc. London.* 18:601-670. 経緯: Coelotinae は 1980 年代後半までは Agelenidae に含ませる意見が主流を占めていた。1986 年 Wunderlich は Amaurobiidae と Coelotinae がシノニム関係であることを示唆したが所属は Agelenidae としている。Platnick (1989) は Agelenidae と Amaurobiidae のシノニム関係は受け入れていない。しかし *Coelotes* とその近似属については、*Agelena* より *Amaurobius* とより密接な関係があるとして、自身のカタログ (1989, 1993, 1997) 中の *Coelotes* の所属は Amaurobiidae の中に置いている。以来 Coelotinae は Amaurobiidae として扱う方向に進んでいる。

分離理由: 近年、クモの分類は Platnick や Coddington などによる形態形質の分岐分析により、新たな方向が示された。Coelotinae についても多くの形態形質の比較分析により Amaurobiidae に含まれている。しかしながら、*Coelotes* と *Amaurobius* では体の構造に決定的な違いがある。それは *Amaurobius* には篩板 (cribellum) があり、*Coelotes* にはないことである。篩板は、*Amaurobius* はじめ篩板類 (cribellatae) の生存を左右する重要な系統形質 (phylogenetic character) で、造網性の篩板類は篩板が損傷すると網が張れなくなり死んでしまう。著者はクモ類の主要形質は、本来、その生態と密接な関係を持っていると考えている。その形質が損傷、欠落、変形することでクモの生活に影響が出るもの、例えば死んで

しまう、網が張れない、捕虫ができない、交接ができないなど、クモの生死、生活、種の維持に関わる形質などはきわめて重要な形質である。逆に、形質の有無がクモの生死にも、生活にもなんら影響がない形質、たとえば側眼の格子型タペータム (grate-shaped tapetum) や雄の関節後側面突起 (RTA) などは、あまり重要ではない形質に当たる。これらの系統形質の順位付けを行うことは、今後、正確な分類体系を確立する上で重要な作業になると考えている。Amaurobiidae の中には篩板類 (cribellatae) と無篩板類 (ecribellatae) という全く異なる分類形質、糸質、造網行動、網型を持った 2 つの分類群 (Coelotinae と Amaurobiidae) が混在することから、Coelotinae を Amaurobiidae より分離させ Coelotidae を提唱する。なお同様の理由から Dictynidae に含まれる *Cicurina* も分離する。また Desidae に含まれる *Paratheuma* も漏斗網 (Funnel web) を張ることから Coelotidae に移す。記載: 体長 3 ~ 15mm。篩板はない (ecribellate)。眼は 8 眼。爪は 3 爪。体型は pp.51 ~ 55 に示す。多くは前中眼が最小である。出糸突起は後疣が前疣より長い、後疣の末節は基節を超えない。雄の触肢膝関節突起、杯葉の深い溝、指示器の lamella、スプーン状の中央突起など (形状例外あり) に他科との区別点が見られる。本科の最大の特徴は管状住居の発達した漏斗網 (Funnel web) を張ることである。

Coelotidae に所属する属: *Coelotes*, *Ambanus*, *Bifidocoelotes*, *Coras*, *Coronilla*, *Draconarius*, *Eurocoelotes*, *Femoracoelotes*, *Himalcoelotes*, *Iwogumoa*, *Leptocoelotes*, *Longicoelotes*, *Paracoelotes*, *Platocoelotes*, *Robusticoelotes*, *Spiricoelotes*, *Tegecoelotes?*, *Tonsilla*, *Urobia*, *Urocoelotes*, *Wadotes*, *Cicurina*, *Paratheuma*

MASTOPHORIDAE Mello-Leitão, 1931, new rank

現在コガネグモ科 (Araneidae) に所属しているナゲナワグモ族 (Mastophoreae Mello-Leitão, 1931) を分離してナゲナワグモ科 (Mastophoridae) を提唱する。

Type Genus: *Mastophora* Holmberg, 1876

Holmberg, E.L., 1876. Aracnidos Argentinos.

*Ann. Agr. Rep. Argentin.* 4: 1-28. f. 1-15

経緯: 現在まで Mastophoreae については一貫して Araneidae として扱われている。

分離理由: コガネグモ科 (Araneidae) とその

周辺の科の系統については多くの研究者により、形態による分類 (Simon ~ Coddington), 生態・網による分類 (Bertkau ~ Coddington) など様々な角度から研究が行われている。その中で Tetragnathidae, Metidae, Theridiosomatidae, Symphytognathidae などが分離され、また Metidae が Tetragnathidae に吸収されたり、*Nephila* や *Zygiella* の所属が Araneidae と Tetragnathidae に分けられたりと様々な変遷があったが、現在は形態形質の組み合わせによる分岐分析の結果 (Coddington & Levi 1991) で一応の集約を見せた。しかしこの分類も共有派生形質に重きを置き過ぎた結果、形質の重要度の評価ができず実態とそぐわない複雑な系統図となってしまう。形態形質の組み合わせによる科学的検証も部分的には評価できるが、著者はコガネグモ上科の分類は、基本的にはクモ自身が明確にその存在位置を示している証拠 (網構造, 造網行動, 捕虫行動) を主体に系統の考察を行い、その結果を形態形質の順位付を行って補強する分類方法が最も適確な手段であると考えている。Mastophoreae は従来 Araneidae に含まれているが、これらの造網行動, 網構造, 捕虫行動は Araneidae に属する *Araneus*, *Cyclosa*, *Gasteracantha* などや、これらに近い Tetragnathidae の *Tetragnatha*, *Leucauge*, *Meta* などとは大幅に異なっている (表-1)。Araneidae と共通の網構造, 造網行動を有する Tetragnathidae を科として認めている分類体系上では、全く異なる網構造, 造網行動の Mastophoreae を科として独立させる必要がある。

NEPHILIDAE Simon, 1894, new rank

現在アシナガグモ科 (Tetragnathidae) に所属しているジョロウグモ亜科 (Nephilinae Simon, 1894) を分離してジョロウグモ科 (Nephilidae) を提唱する。

Type Genus : *Nephila* Leach, 1815  
Leach, W. E., 1815. Zoological Miscellany. being Descriptions of New and Interesting Animals. London, 2, pp.1-154.

経緯 : Nephilinae は 1980 年代後半までは Araneidae に含まれていたが、Levi (1989) は Tetragnathidae に移行させ、以来、Nephilinae は Tetragnathidae として扱われる方向に進んでいる。



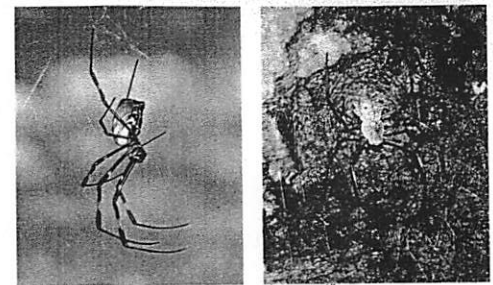
左 ナゲナワグモの捕虫 (M. Stowe) 右 トリノフンダマンの網

記載 : 体長 (オス) 1.5 ~ 3mm, (メス) 7 ~ 17mm。オスは非常に小さくメスの3分の1から7分の1, 腹部は幅 > 長さ, 扁平な種類が多い。メスの腹部は非常に大きく, 横広で楕円形または三角形に近いものが多い。腹部の長さは頭胸部の長さの1.5倍から3倍。腹部幅は頭胸部幅の2.5倍から4.5倍。球状, 機雷形, 紡錘形の卵のうを葉裏から吊るす (または葉裏に引いた糸の間)。造網種, 非造網種があり, 同心円状円網 [*Cyrtarachne* 他], 扇形水平網 [*Pasilobus*], 投げ縄式捕虫行動 [*Mastophora*, *Ordgarius* 他], 糸上捕虫行動 [*Celaenia* 他] などが確認されている。通常の円網とは異なり横糸は螺旋状にならず1回転ごとに張る。足場糸は引かない, 横糸と縦糸の接合部は, 横糸に負荷が加わると片方の接合部が切れる (low shear joint)。横糸を張る時および回転粘球を作る時は第4脚で横糸の繰り出し行動を行う。全種がガ類 (moths) を捕虫する。**Mastophoridae に所属する属 : *Mastophora*, *Cladomelea*, *Dicrostichus*, *Ordgarius*, *Pasilobus*, *Cyrtarachne*, *Paraplectana*, *Poecilopachys*, *Celaenia*, *Kaira*, *Taczanowskia*,**

分離理由 : 形態的には Araneidae と Tetragnathidae のどちらも確定できない Nephilinae を Tetragnathidae に所属させた最大の理由は触肢の構造が Araneidae とは異なることである。しかしながら頭胸部の形態, 特に眼域, 口器周辺 (上顎, 牙, 下顎など) は Tetragnathidae とは大きく異なっている。現在の状態ではどちらも確定できないことから, 両科と明瞭に区別できる網構造により, Nephilinae をいずれの科からも分離して Nephilidae を提唱する。

記載 : 体長 (オス) 4 ~ 10mm, (メス) 12 ~ 50mm。オスは非常に小さくメスの2分の1か

ら12分の1。蹄形円網及びその変形網。縦糸は中心から枠までの間に, 分岐や2分割によって多数の縦糸が追加される。横糸を張る時に足場糸を切らない。足場糸と足場糸の間に4~5本に横糸を張るのできわめて目の細かい網になる。*Nephila* では主網の前後にバリアーとなる多数の糸を引くため, 全体的に3重網のように見えるものもある。*Nephilengys* は網の上部の葉の中などに潜み中心にはいない。*Herennia* は太い樹木の表面ちかくに造網し, クモは網の中心で樹皮面に張り付くように潜む。



左 ジョロウグモ 右 ケハイグモ

Nephilidae に所属する属 : *Nephila*, *Nephilengys*, *Herennia*

表-1 造網行動, 網型, 捕虫行動による科の分離

	Mastphoridae				Araneidae					Tetragnathidae				Nephilidae		
	Cyr	Pas	Mas	Cel	Ara	Arg	Cyc	Gas	Pro	Tet	Leu	Met	Men	Nep	Nlg	Her
Horseshoe orb web 目の細かい ladder web こしき (hub) を切らない 横糸は短間隔の折返し 横糸着点の決定 oIV 網上部は横糸極少 縦糸 (radii) 分岐有り 縦糸の2分割有り 一動作で縦糸2本 横糸は5線糸構造 barrier web 有り														+		
Horizontal orb web こしきは切ったまま 横糸は螺旋状 (spiral) 足場糸を張る 横糸の粘球は固定 足場糸を切る									y							
Normal orb web こしきは切って閉じる 捕帯を出す かくれ帯, ゴミ付着 no web (幼体は造網)					+	+	+	+								
同心円状円網 (circles) 横糸は1回転ずつ張る 横糸は交互に半円造網 Two-sectored web 足場糸は引かない Boras spiders 横糸の繰り出し行動 横糸の粘球は移動する ガの引上げ捕虫 low shear joint 有り 横糸は負荷で切れる ガ類 (moth) だけを捕る 幼体時網を張らない no web (一生非造網)	+															

Cyr=Cyrtarachne, Pas=Pasilobus, Mas=Mastophora, Ara=Araneus, Arg=Argiope, Cyc=Cyclosa, Gas=Gasteracantha, Pro=Pronotus, Tet=Tetragnatha, Leu=Leucauge, Met=Meta, Men=Menosira, Nep=Nephila, Nlg=Nephilengys, Her=Herennia. (y : 幼体期有り。\* : 時に見られる。)

## 参考文献

- 青木淳一篇, 1999. 日本産土壌動物. 1076pp. 東海大学出版会, 東京.
- 安藤昭久, 2004. ヨロイヒメグモの網は放射状. *Kishidaia*, (86):13-14.
- 馬場友希, 2005. 奄美大島・沖縄本島・久米島・渡嘉敷島で採集したクモ. *Kishidaia*, (88):56-64.
- Bohdanowicz, A. 1979. Descriptions of spiders of the genus *Synagelides*(Araneae:Salticidae) from Japan and Nepal. *Acta arachnologica*, 28(2): 53-62.
- Bösenberg, W. & E. Strand, 1906. Japanische Spinnen. *Abhandlungen herausgegeben von der senckenbergischen naturforschenden Gesellschaft, Frankfurt*, 30:93-422, pls. 3-16.
- 千国安之輔, 1989. 写真日本クモ類大図鑑. 308pp. 偕成社, 東京.
- Coddington, J. A., 1986. The monophyletic origin of the orb web. In:Shear. Spiders:Webs, behavior, and evolution. *Stanford University Press, California*, 319-363.
- Coddington, J. A. & H. W. Levi, 1991. Systematics and evolution of spiders(Araneae). *Annual Review of Ecology and Systematics*, 22:565-592.
- Eberhard, W. G., 1980. The natural history and behavior of the bolas spider *Mastophora dizzydeani* sp. n.(Araneidae). *Psyche*, 87(3-4):143-169.
- Eberhard, W. G., 1982. Behavioral characters for the higher classification of orb-weaving spiders. *Evolution*, 36(5):1067-1095.
- Eberhard, W. G., 1987. Web-building behavior of Anapid, Symphytognathid and Mysmenid spiders(Araneae). *The Journal of Arachnology*, 14(3):339-356.
- Eberhard, W. G. 1990. Function and phylogeny of spider webs. *Annual Review of Ecology and Systematics*, 21:341-372.
- Eberhard, W. G. & F. Pereira, 1993. Ultrastructure of cribellate silk of nine species in eight families and possible taxonomic implications(Araneae:Amaurobiidae, Deinopidae, Desidae, Dictynidae, Filistatidae, Hypochilidae, Stiphidiidae, Tengellidae). *The Journal of Arachnology*, 21(2):161-174.
- 藤沢庸助, 2004. 長野県クモ類目録. *Kishidaia*, (85):47-100.
- 福島彬人, 1997. 秋田県の真正蜘蛛類研究史. *Kishidaia*, (72):58-63.
- 福島彬人, 1997. 秋田県の真正蜘蛛類目録. *Kishidaia*, (72):64-82.
- Griswold, C. E., J. A. Coddington, G. Hormiga & N. Scharff, 1998. Phylogeny of the orb-web building spiders (Araneae, Orbiculariae:Deinopoidea, Araneoidea). *Zoological Journal of the Linnean Society*, 123(1):1-99.
- Grisword, C. E., J. A. Coddington, N. I. Platnick & R. R. Forster, 1999. Towards a phylogeny of entelegyne spiders (Araneae, Araneomorphae, Entelegynae). *The Journal of Arachnology*, 27(1):53-63.
- 橋本理市, 1962. 三重県産真正蜘蛛類目録資料. 24pp. 著者自刊.
- Hayashi, T., 1987. Some spiders of the genus *Clubiona* (Araneae:Clubionidae) from Hokkaido. *Bulletin of the Biogeographical Society of Japan*, 42(6):33-41.
- Hayashi, T., 1992. Three species of the genus *Agroeca* (Araneae:Clubionidae) from Japan, including a new species. *Acta arachnologica*, 41(2):133-137.
- van Helsdingen, P. J., 1969. A reclassification of the species of *Linyphia* Latreille based on the functioning of the genitalia (Araneida, Linyphiidae), I. *Zoologisch Verhandelingen, Leiden*, (105):1-303, pl. 1.
- 平松毅久, 1992. 埼玉県でサカグチトリノフンダマシ. *Kishidaia*, (64):41.
- 池田博明, 1988. クモ生理生態事典. 173pp. 著者自刊.
- 池田博明, 1991. 日本新記録のウラシマグモ属1種と雄の初めての記載. *Atypus*, (98/99):17-20.
- Ikeda, H., 1995. A revisional study of the Japanese salticid spiders of the genus *Neon* Simon (Araneae:Salticidae). *Acta arachnologica*, 44(1):27-42.
- Ikeda, H., 1995. Two poorly known species of salticid spiders from Japan. *Acta arachnologica*, 44(2):159-166.
- Ikeda, H., 1996. Japanese salticid spiders of the genus *Euophrys* C. L. Koch and *Tajavera* Peckham et Peckham (Araneae:Salticidae). *Acta arachnologica*, 45(1):25-41.
- Ikeda, H., 1997. New records of a Korean species, *Evarcha fasciata* Seo, 1992 (Araneae: Salticidae) from Japan. *Acta arachnologica*, 46(2):125-131.
- 池田博明, 2000. ハエトリグモの学名の解説(1). *Kishidaia*, (79):20-42.
- 池原貞雄・下謝名松栄, 1975. 沖縄の陸の動物. 143pp. 風土社, 沖縄.
- 板倉泰弘, 1998. 天竜川中下流部河川敷の真正クモ類. 蜘蛛(KUMO). (30):49-60.
- 板倉泰弘, 1999. 苦節9年. ハヤテグモの生息環境と婚姻給餌発見まで. *Kishidaia*, (76):30-33.
- Jäger, P. & H. Ono, 2000. Sparassidae of Japan. I. New species of *Olios*, *Heteropoda*, and *Sinopoda*, with notes on some known species(Araneae: Sparassidae: Sparassinae and Heteropodinae). *Acta arachnologica*, 49(1):41-60.
- Jäger, P. & H. Ono, 2002. Sparassidae of Japan. II. First *Pseudopoda* species and new *Sinopoda* species (Araneae: Sparassidae: Heteropodinae). *Acta arachnologica*, 51(2):109-124.
- Jones, D., 1983. The country life guide to spiders of Britain and northern Europe. 320pp. *Country Life books, Feltham*.
- 加村隆英, 1986. 日本のワシグモ類 (II). *Atypus*, (87):9-20.
- Kamura, T., 1987. Three species of the genus *Drassyllus*(Araneae:Gnaphosidae) from Japan. *Acta arachnologica*, 35(2):77-88.
- 加村隆英, 1990. 日本のワシグモ類 (IV) 日本新記録の1種および最近日本から報告された2種について. *Atypus*, (95):32-38.
- Kamura, T., 1992. Two new genera of the family Gnaphosidae(Araneae) from Japan. *Acta arachnologica*, 41(2):119-132.
- Kamura, T., 1998. Taxonomic notes on Gnaphosidae(Araneae) from Japan. *Acta arachnologica*, 47(2):169-171.
- 加村隆英・淀江賢一郎・斉藤光男, 1999. 島根県斐伊川水系のクモ類(1997年の調査結果). ホシザキグリーン財団研究報告. (3):39-56.
- Kamura, T., 2001. Seven species of the families Liocranidae and Corinnidae(Araneae) from Japan and Taiwan. *Acta arachnologica*, 50(1):49-61.
- Kamura, T., 2001. A new genus *Sanitubius* and a revived genus *Kishidaia* of the family Gnaphosidae(Araneae). *Acta arachnologica*, 50(2):193-200.
- 萱嶋泉, 1943. 台湾の蜘蛛. 65pp., 21pls. 東京書籍, 東京.
- 木村知之, 1994. 河原の石の下からハモンエビグモ. *Kishidaia*, (67):45.
- 岸田久吉, 1914. 日本産蜘蛛類(其12)(完結). 科学世界, 8(4):32-36.
- 熊田憲一・新海栄一, 1987. 大山原生林の真正クモ類. 神奈川県指定天然記念物地域動物調査報告

- 書, pp.245-258.
- 熊田憲一・新海栄一, 1987. 丹沢札掛モミ林の真正クモ類. 神奈川県指定天然記念物地域動物調査報告書, pp.321-331.
- 熊田憲一・池田博明・谷川明男, 1995. 神奈川県産クモ類目録. *Kishidaia*, (68):1-48.
- Lehtinen, P. T., 1967. Classification of the cribellate spiders and some allied families, with notes on the evolution of the suborder Araneomorpha. *Annales Zoologici Fennici*, 4(3):199-468.
- Levi, H. W. & V. R. von Eickstedt, 1989. The Nephilinae spiders of the neotropics(Araneae: Tetragnathidae). *Memoirs Instituto Butantan*, 51(2):43-56.
- Levi, H. W. & L. R. Levi, 2002. Spiders and their kin(revised and updated). 160pp. *St. Martin's Press*, New York.
- Levi, H. W., 2003. The bolas spiders of the genus *Mastophora*(Araneae:Araneidae). *Bulletin of the Museum of Comparative Zoology*, 157(5):309-382.
- 松本誠治・新海栄一・小野展嗣, 1976. 「中平清監修」学研の図鑑・クモ. 160pp. 学習研究社. 東京.
- 松田まゆみ, 1985. 北海道中央高地(大雪山国立公園)の真正蜘蛛類. 上士幌町ひがし大雪博物館研究報告, (7):1-33.
- 松田まゆみ, 1986. 北海道中央高地(大雪山国立公園)の真正蜘蛛類補遺(1). 上士幌町ひがし大雪博物館研究報告, (8):83-92.
- 松田まゆみ, 1988. 北海道中央高地(大雪山国立公園)の真正蜘蛛類補遺(2). 上士幌町ひがし大雪博物館研究報告, (10):11-18.
- 松田まゆみ, 1990. 北海道中央高地(大雪山国立公園)の真正蜘蛛類補遺(3). 上士幌町ひがし大雪博物館研究報告, (12):61-71.
- 松田まゆみ, 1993. ハエトリグモの日本新記録種. 上士幌町ひがし大雪博物館研究報告, (15):69-71.
- 松田まゆみ, 1997. 北海道産クモ類目録. 上士幌町ひがし大雪博物館研究報告, (19):1-46
- 松田まゆみ, 2000. 北海道産クモ類目録補遺. 上士幌町ひがし大雪博物館研究報告, (22):35-41.
- 松田まゆみ, 2002. 北海道産クモ類目録補遺 II. 上士幌町ひがし大雪博物館研究報告, (24):41-46.
- 松田まゆみ・堀繁久・石田裕一, 2004. 野幌森林公園のクモ相. 北海道開拓記念館調査報告, (43):11-32.
- 松田まゆみ, 2004. 伊豆諸島式根島で採集したクモとヤマトウシオグモ, タニカワヤリグモの記録. *Kishidaia*, (86):10-12.
- 宮下和喜, 2000. イツツグモの生活史. *Kishidaia*, (79):1-4.
- 長島忠義, 1975. 小笠原・母島のクモ. 小笠原村立母島小中学校郷土史委員会, 12pp.
- 中平清, 1961. 高知県のクモ. *Atypus*, (23/24):27-60.
- Namkung, J., 2001. The spiders of Korea. 647pp. *Kyo-Hak Publishing*, Seoul.
- 西川喜朗, 1976. 日本産ヤチグモ属の地理的分布(予報). 追手門学院大学 10 周年記念論集. 文学部篇, pp.1043-1066.
- 西川喜朗, 1993. 日本産野生生物目録(2) 節足動物門・クモ綱・クモ目. 環境庁編, 日本産野生生物目録一本邦産野生動物種の現状・無脊椎動物編 I, pp.57-76. 自然環境研究センター, 東京.
- 小笠原幸恵, 1998. 飼育下におけるトガリクサチヒメグモの網型と卵囊について. *Kishidaia*, (74):11-16.
- 緒方清人, 1993. 鳳来寺山の真正クモ類. 鳳来寺山自然科学博物館開館 30 周年記念誌「鳳来寺山の自然誌」. pp.525-606.
- 緒方清人, 1993. 知立市の真正クモ類について(2). しのびぐも, (21):1-4.
- 緒方清人, 1996. クモ類. 稲武町史-自然-本文編. pp.380-402.

- 緒方清人, 1996. 真正クモ類. 設楽町誌-自然篇-本文編. pp.471-508.
- 緒方清人, 1998. 真正クモ類. 新編豊川市史-第 10 巻-自然, 自然資料, pp.132-153.
- 緒方清人, 1999. 鳳来寺山の真正クモ類 (II). 鳳来寺山自然科学博物館館報, (28):101-120.
- 緒方清人, 1999. 真正クモ類. 豊橋市自然環境保全基礎調査報告書. pp.163-200.
- 緒方清人, 2001. 岡崎公園内の真正クモ類. 岡崎市史研究, (23):72-82.
- 緒方清人, 2003. 真正クモ類. 豊門市史資料編補七自然, -本文編-. pp.225-264.
- 緒方清人, 2003. 真正クモ類. 豊門市史資料編補七自然, -資料編-. pp.121-146.
- Okuma, C., 1983. New synonymies and new records of some cosmopolitan species of the genus *Tetragnatha*(Araneae:Tetragnathidae). *Esakia*, (20):69-80.
- Okuma, C., 1987. A revision of the Australasian species of the genus *Tetragnatha*(Araneae, Tetragnathidae). *Esakia*, (25):37-96.
- Okuma, C., 1988. Five new species of *Tetragnatha* from Asia(Araneae:Tetragnathidae). *Esakia*, (26):71-77.
- Okuma, C., 1988. A revision of the genus *Tetragnatha* Latreille(Araneae, Tetragnathidae) of Asia, part I. *Journal of Faculty of Agriculture, Kyushu University*, 32(3/4):165-181.
- 大野正男, 1994. カトウツケオグモの知見総説. 自然誌研究雑誌, (5):17-28.
- Oi, R., 1960. Linyphiid spiders of Japan. *Journal of the Institute of Polytechnics, Osaka City University, Series D*, 11:137-244.
- Ono, H., 1985. Revision einiger arten der familie Thomisidae(Arachnida:Araneae) aus Japan. *Bulletin of the National Science Museum, Tokyo, Series A*, 11(1):19-39.
- Ono, H., 1988. A révisional study of the spider family Thomisidae(Arachnida, Araneae) of Japan. *National Science Museum Monographs Tokyo*, (5):i-ii,1-252. 1pl.
- Ono, H., 1989. New species of the genus *Clubiona*(Araneae:Clubionidae) from Iriomotejima island, the Ryukyus. *Bulletin of the National Science Museum, Tokyo, Series A*, 15:155-166.
- Ono, H. & A. Tanikawa, 1990. A revision of the spiders of the genus *Langbiana*(Araneae: Zodiariidae). *Memoirs of the National Science Museum, Tokyo*, (23):101-112.
- 小野展嗣, 1991. 日本のクモ相に加わったハグモ科の一種 *Lathys sexoculata* Seo et Sohn. *Atypus*, (98/99):37-39.
- Ono, H., K. Kumada, M. Sadamoto & E. Shinkai, 1991. Spiders from the northernmost areas Hokkaido, Japan. *Memoirs of the National Science Museum, Tokyo*, (24):81-103.
- 小野展嗣・保田信紀, 1992. 北海道産カニグモ科クモ類の採集記録. 層雲峡博物館研究報告, (12):1-14.
- Ono, H., 1995. Three species of spiders of the families Clubionidae and Thomisidae(Araneae) from Japan. *Acta arachnologica*, 44(1):71-78.
- ONO, H., 1998. Spiders of the genus *Heptathela*(Araneidae:Liphistiidae) from Kyushu, Japan. *Memoirs of the National Science Museum, Tokyo*, (30):13-27.
- 小野展嗣, 2000. 皇居の庭園と濠のクモ. 国立科学博物館専報, (35):127-145.
- 小野展嗣・新海栄一, 2001. 自然教育園のクモ類. 自然教育園報告, (33):173-200.
- 小野展嗣, 2001. 伊豆諸島のクモ類. 国立科学博物館専報, (37):261-277.
- Ono, H., 2002. New and remarkable spiders of the families Liphistiidae, Argyronetidae, Pisauridae, Theridiidae and Araneidae(Araneae) from Japan. *Bulletin of the National Science Museum, Tokyo, Series A*, 28(1):51-60.
- Ono, H., 2002. First record of the genus *Anapistura*(Araneae, Symphytognathidae) from Asia.

- Bulletin of the National Science Museum, Tokyo, Series A, **28(2)**:61-64.
- 小野展嗣・新海栄一, 2005. 常盤松御用邸(東京都渋谷区)の庭園のクモ. 国立科学博物館専報, **(39)**:455-465.
- Paik, K. Y., 1979. Korean spiders of the genus *Philodromus*(Araneae:Thomisidae). *Research Review of Kyungpook National University*, **28**:421-452.
- Paik, K. Y., 1985. Studies on the Korean Salticid(Araneae). I. A number of new record species from Korea and south Korea. *Korean Arachnology*, **1(2)**:43-56
- Paik, K. Y., 1987. Studies on the Korean Salticid(Araneae). III. Some new record species from Korea or south Korea and supplementary describe for the two species. *Korean Arachnology*, **3(1)**:3-21.
- Peng, X. J., L. P. Xie & X. Q. Xiao, 1993. Salticids in China(Arachnida:Araneae). 270pp. *Hunan Normal University Press*.
- Pfletschinger, H., 1976. Einheimische spinnen. Die webespinnen-arten und verhalten 71pp. *Franckh'sche Verlagshandlung, Stuttgart*.
- Platnick, N. I. 1976. Notes on east Asian Plator(Araneae:Gnaphosoidea). *Acta arachnologia*, **27(1)**:1-7.
- Platnick, N. I., 1989. Advances in Spider Taxonomy 1981-1987, A supplement to Brignoli's A catalogue of the Araneae described between 1940 and 1981. vii+673pp. *Manchester University Press, Manchester*.
- Platnick, N. I., 1993. Advances in Spider Taxonomy 1988-1991, with synonymies and transfers 1940-1980. 846pp. *New York Entomological Society and American Museum of Natural History, New York*.
- Platnick, N. I., 1997. Advances in Spider Taxonomy 1992-1995, with redescription 1940-1988. 976pp. *New York Entomological Society and American Museum of Natural History, New York*.
- Prószyński, J., 1973. Systematic studies on east palaeartic Salticidae, II. Redescriptions of Japanese Salticidae of the Zoological museum in Berlin. *Annales Zoologici, Warszawa*, **30(5)**:99-128.
- Prószyński, J., 1976. Studium systematyczno-zoogeograficzne nad rodzina Salticidae/ Aranei/ regionow palearktycznego i nearktycznego. *Wyzsza szkola Pedagogiczna w Siedlcach*, **6**:1-260
- Prószyński, J., 1979. Systematic studies on east palaeartic Salticidae III. Remarks on Salticidae of the USSR. *Annales Zoologici, Warszawa*, **34(11)**:1-71.
- Prószyński, J., 1982. Salticidae(Araneae) from Mongolia. *Annales Historico-Naturales Musei Nationalis Hungarici*, **74**:273-294.
- Roberts, M. J., 1985. The spiders of Great Britain and Ireland. volume 1. 229pp. *Harley Books, Colchester*.
- Roberts, M. J., 1985. The spiders of Great Britain and Ireland. volume 3. 256pp. *Harley Books, Colchester*.
- Roberts, M. J., 1987. The spiders of Great Britain and Ireland. volume 2. 204pp. *Harley Books, Colchester*.
- Robinson, M. H. & B. Robinson, 1980. Comparative studies of the courtship and mating behavior of tropical Araneid spiders. *Pacific Insects Monograph*, **(36)**:1-218.
- 貞元己良, 2004. 高知県合宿のその後. *Kishidaia*, **(86)**:59-67.
- 斉藤慎一郎, 2004. 石川県かほく市の暖地性クモ類. *Kishidaia*, **(86)**:29-32.
- 斉藤博, 1979. 栃木県産サラ・コサラグモに就いて(II). インセクト, **30(2)**:79-83.
- 佐藤幸子・日下部光代, 1990. 多摩丘陵の畑のクモ. *Kishidaia*, **(60)**:15-25.
- 佐藤正義・関下俊英・新海栄一, 1969. 日本私学教育研究所周辺の生物相(II) 植物・真正蜘蛛類. *日本私学教育研究所紀要*, **(4)**:373-390.
- Sauer, F. & J. Wundererlich, 1985. Die schönsten spinnen Europas. 190pp. *Fauna-Verleg, Karlsfeld*.
- 関口晃一, 1952. クモの生活. 6+161+3pp., 2pls. 同和春秋社, 東京.
- 関下俊英・新海栄一, 1968. 日本私学教育研究所周辺の生物相(1) 真正蜘蛛類(Araneae). *日本私学教育研究所紀要*, **(3)**:200-210.
- Shimojana, M., 1977. The spider fauna of the Tokara island. *Ecological Studies of Nature Conservation of the Ryukyu Island (III)*(S.ikehara,ed.), *University of the Ryukyus*, pp.103-126
- 下謝名松栄, 1978. 南・北大東島および沖縄南部地域の洞穴動物相. 沖縄県洞穴実態調査報告. **(I)**:75-111.
- 下謝名松栄, 1979. 沖縄島および周辺離島の洞穴動物. 沖縄県洞穴実態調査報告. **(II)**:97-153.
- 下謝名松栄, 2003. 琉球列島におけるヤチグモ類の地理的分布と種分化に関する研究. 300pp. 自刊.
- 新海明, 1982. ジョロウグモの網の構造の再検討(1). *Atypus*, **(80)**:1-10.
- 新海明, 1983. ジョロウグモの網の構造の再検討(2) 縦糸の分岐・二分割と足場糸の関係. *Atypus*, **(82)**:35-47.
- 新海明, 1985. ジョロウグモとオオジョロウグモの網構造の比較によるジョロウグモ属の由来の一考察. *Acta arachnologica*, **34(1)**:11-22.
- 新海明, 1988. キヌアシナガグモ *Tetragnatha lauta* Yaginumaの網構造について. *Kishidaia*, **(56)**:15-18.
- 新海明, 1988. トビジロイソウグモの網食い行動の観察. *Acta arachnologica*, **36(2)**:115-119.
- 新海明, 1989. キヌアシナガグモの網構造について(続報): 幼体の網. *Kishidaia*, **(58)**:46-47.
- 新海明, 1990. ヤマシグモの網構造と餌捕獲行動の観察. *Atypus*, **(96)**:19-24.
- 新海明, 1992. アカイロトリノフンダマシの網構造および造網行動について—トリノフンダマシ属の網はふつうの円網か—. *Atypus*, **(100)**:4-12.
- 新海明, 1993. 日本産の「子育て」グモについて. *Kishidaia*, **(65)**:9-12
- 新海明・新海栄一, 1997. ナルコグモの網構造と餌捕獲行動. *Acta arachnologica*, **46(1)**:53-60.
- 新海明・池田博明・谷川明男, 1998. 東京蜘蛛談話会 1997年度合宿報告 沖縄県名護市周辺のクモ. *Kishidaia*, **(74)**:23-32.
- 新海明, 2001. スズミグモの分布拡大の記録. *Kishidaia*, **(80)**:50-56.
- 新海明・平松毅久, 2003. 西表島クモ観察記(3). *Kishidaia*, **(84)**:47-53.
- 新海明・安藤昭久・谷川明男, 2004. CD: 県別クモ類分布図 Ver. 2004. 著者自刊.
- 新海栄一, 1969. 東京都産真正蜘蛛類. 65pp., 10pls. 東亜蜘蛛学会, 大阪.
- 新海栄一, 1970. 東京都産真正蜘蛛類(II). *Atypus*, **(54)**:21-26.
- 新海栄一, 1977. 日本における南北各系統種の分布について. *Atypus*, **(70)**:46-47.
- 新海栄一, 1977. 皇居内の土壌性クモ類. *Edaphologia*, **(16)**:26-34, pls. 1.
- 新海栄一, 1977. 東京都産真正蜘蛛類 III. *Acta arachnologica*, **27(special number)**:321-336, pls.1-2.
- 新海栄一, 1977. 都会のクモ I. 千代田区3番町宮内庁分室庭園のクモ. *Kishidaia*, **(42)**:35-38.
- 新海栄一, 1980. 1月平均気温2℃以北のクモ数種について. *Atypus*, **(77)**:49.

- 新海栄一, 1982. ナゲナワグモが日本にもいた 粘球で獲物をとらえるイセキグモの奇妙な行動. アニマ, (108):6-11. 平凡社.
- 新海栄一, 1984. 多摩川水系流域の真正クモ類. とうきゅう環境財団助成集報, (56):30-89.
- 新海栄一・高野伸二, 1984. フィールド図鑑クモ. 204pp. 東海大学出版会, 東京.
- 新海栄一, 1986. 板橋区の真正クモ類. 板橋区昆虫類等実態調査, pp.134-148.
- 新海栄一・熊田憲一, 1987. 大雄山杉林の真正クモ類, 神奈川県指定天然記念物地域動物調査報告書 クモ類, pp.81-97.
- 新海栄一・熊田憲一, 1987. 大磯高麗山の自然林の真正クモ類. 神奈川県指定天然記念物地域動物調査報告書 クモ類, pp.171-179.
- 新海栄一・高野伸二, 1987. クモ基本 50. 128pp. 森林書房, 東京.
- 新海栄一, 1989. 日本産造網性クモ類の網型の分類. 八木沼健夫教授退職記念論文集, pp.153-179.
- 新海栄一, 1991. 小笠原のクモ類. 第2次小笠原諸島自然環境現況調査報告書, 東京都立大学, pp.223-226.
- 新海栄一・山川守・熊田憲一・池田博明・谷川明男・貞元己良, 1997. 丹沢産地のクモ類. 丹沢大山自然環境総合調査報告書, 丹沢山地動植物目録, pp.301-321.
- 新海栄一, 1998. クモ類による環境の評価. *Kishidaia*, (74):33-100.
- Song, D., M. Zhu & J. Chen, 1999. The spiders of China. 640pp., 4pls. *Hebei Science and Technology Publishing House, Shijiazhuang*.
- 鈴木忠夫, 1986. 浜松市湖東地区の真正クモ類. 静岡県産真正クモ類他 16編, pp.96-98. 著者自刊.
- Tanaka, H. & Suwa, M., 1974. Japanese wolf spiders of the *Pirata*, with descriptions of five new species (Araneae:Lycosidae). *Acta arachnologica*, 26(1):22-45, pls.1-3.
- 田中穂積, 1978. *Hygrolycosa* 属 (コモリグモ科) のクモ日本に産す. *Acta arachnologica*, 28(1):13-18.
- Tanaka, H., 1985. Descriptions of new species of the Lycosidae(Araneae) from Japan. *Acta arachnologica*, 33(2):51-87.
- Tanaka, H., 1986. Descriptions of three new spiders of the *Pardosa laura* complex (Araneae:Lycosidae) based on their morphology and ecology. *Acta arachnologica*, 34(2):49-60.
- 田中穂積, 1986. 日本から新たに得られたコモリグモ科 13 種について. *Atypus*, (88):15-23.
- 田中穂積, 1988. 日本の *Arctosa* (ミズコモリグモ) 属の 1 珍種. *Atypus*, (91):5-8.
- 田中穂積, 1989. 日本から得られた *Pardosa* (オオアシコモリグモ属) の 2 未記録種および 1 新シノニム. *Atypus*, (93):10-15.
- Tanaka, H., 1990. Lycosid spiders of Japan III. The genus *Lycosa* Latreille. *Sonoda Women's College Studies*, (24):193-213.
- Tanaka, H., 1990. Lycosid spiders of Japan IV. The genus *Tricca* Simon. *Acta arachnologica*, 39(1):21-26.
- Tanaka, H., 1991. Lycosid spiders of Japan VII. The genus *Arctosa* C. L. Koch. *Sonoda Women's College Studies*, (25):289-316.
- Tanaka, H., 1992. Lycosid spiders of Japan VIII. The genus *Alopecosa* Simon. *Sonoda Women's College Studies*, 26:315-340.
- Tanaka, H., 1993. Lycosid spiders of Japan IX. The genus *Pardosa* C. L. Koch-*amentata* group-. *Sonoda Women's College Studies*, (27):261-318.
- 田中穂積, 1999. コモリグモ科標本のデータの追加 (リスト). *Kishidaia*, (77):119-124
- 田中穂積, 2000. コモリグモ科標本のデータの追加 (リスト) の訂正. *Kishidaia*, (79):63.
- 谷川明男, 1989. コオニグモモドキ (*Pronous minutus* (Saito, 1939)) の捕虫法について. *Atypus*, (93):1-4.
- 谷川明男, 1989. 西表島のクモ類採集記録 I. *Kishidaia*, (59):25-44.
- 谷川明男, 1991. 西表島のクモ類採集記録 II. *Kishidaia*, (62):26-30.
- Tanikawa, A., 1992. A revisional study of the Japanese spiders of the genus *Cyclosa* Menge (Araneae:Araneidae). *Acta arachnologica*, 41(1):11-85.
- Tanikawa, A., 1992. A revision of the Japanese spiders of the genus *Metleucauge* Levi, 1980 (Araneae:Tetragnathidae). *Acta arachnologica*, 41(2):161-175.
- Tanikawa, A., 1994. A new species of the spider genus *Aculepeira* (Araneae:Araneidae) from Japan. *Acta arachnologica*, 43(2):179-182.
- Tanikawa, A., 1995. Two new species of the spider genus *Diphya* (Araneae:Tetragnathidae) from Japan and Taiwan, with notes on the known species. *Acta arachnologica*, 44(2):101-111.
- 谷川明男・佐々木健志, 1999. 沖縄県産クモ類目録. *Kishidaia*, (76):61-101.
- Tanikawa, A., 1999. Japanese spiders of the genus *Eriovixia* (Araneae:Araneidae). *Acta arachnologica*, 48(1):41-48.
- 谷川明男, 1999. 西表島のクモ類採集記録 V. *Kishidaia*, (77):69-73.
- Tanikawa, A., 1999. Japanese spiders of the genus *Hersilia* (Araneae:Hersiliidae). *Acta arachnologica*, 48(2):131-137.
- 谷川明男, 2000. 日本産クモ類目録 (2000 年版). *Kishidaia*, (78):79-142.
- Tanikawa, A., 2001. *Okileucauge sasakii*, a new genus and species of spider from Okinawajima island, southwest Japan (Araneae:Tetragnathidae). *The Journal of Arachnology*, 29(1):16-20.
- Tanikawa, A., 2001. Twelve new species and one newly recorded species of the spider genus *Araneus* (Araneae: Araneidae) from Japan. *Acta arachnologica*, 50(1):63-86.
- 谷川明男, 2002. 日本産クモ類目録 (2000 年版) 補遺 2. *Kishidaia*, (82):26-30.
- 谷川明男, 2002. 西表島のクモ類採集記録 VI. *Kishidaia*, (82):39-42.
- 谷川明男, 2002. 奄美大島未記録のクモ 3 種. *Kishidaia*, (83):59-60.
- 谷川明男, 2003. 沖縄クモ図鑑. 95pp. 文葉社, 東京.
- 谷川明男, 2004. 2004年6月の沖縄のクモ採集記録. *Kishidaia*, (87):99-104.
- 谷川明男, 2005. アシブトヒメグモは年2化である. *Kishidaia*, (87):33-35.
- 谷川明男, 2005. 日本産クモ類目録 (2005 年版). *Kishidaia*, (87):127-187.
- 谷川明男, 2005. 奄美大島・西表島・与那国島・沖縄島・南大東島・北大東島で採集したクモ. *Kishidaia*, (88):65-72.
- 徳本洋, 1994. ツシマトリノフンダマシの石川県における発見ならびに本種に関する既知情報の総合的検討. 蜘蛛 (KUMO), (27):287-294.
- 梅林力・井上房枝・小澤實樹・熊田憲一・松浦祐司・松本誠治, 1998. 東京都杉並区のクモ相. *Kishidaia*, (75):27-44.
- Wang, X. P., 2002. A generic-level revision of the spider subfamily Coelotinae (Araneae: Amaurobiidae). *Bulletin of the American Museum of Natural History*, (269):1-150.
- Wang, X. P., 2003. Species revision of the Coelotine spider genera *Bifidocoelotes*, *Coronilla*, *Draconarius*, *Femoracoelotes*, *Leptocoelotes*, *Longicoelotes*, *Platocoelotes*, *Spiricoelotes*, *Tegecoelotes*, and *Tonsilla* (Araneae:Amaurobiidae). *Proceedings of*

- the California Academy of Sciences, **54(26)**:499-662.
- Wesolowska, W., 1981. Salticidae (Aranei) from north Korea, China and Mongolia. *Annales Zoologici, Warszawa*, **36(3)**:45-83
- Wesolowska, W. & Y. M. Marusik, 1990. Notes on *Heliophanus camtschadalicus* Kulczyński 1885(Aranei:Salticidae) and the related species. *Korean Arachnology*, **6(1)**:91-100.
- Wunderlich, J., 1986. Spinnenfauna gestern und heute: Fossile Spinnen in Bernstein und ihre heute lebenden Verwandten. 283pp. *Verlag Jörg Wunderlich, D-7541 Straubenhardt 3*.
- 八木沼健夫, 1958. 青森県下北半島の蜘蛛. 資源科学研究所彙報, **(46/47)**:69-77.
- 八木沼健夫, 1960. 原色日本蜘蛛類大図鑑, 197p. 保育社, 大阪.
- Yaginuma, T., 1962. The spider fauna of Japan. 74+18pp., 2pls. *Arachnological Society of East Asia, Osaka*.
- 八木沼健夫, 1963. Zoropsidae のクモ日本の fauna に入る. *Acta arachnologica*, **18(1)**:1-6, pls. I, III.
- 八木沼健夫, 1967. 日本産真正蜘蛛類の検討・追加ならびに7新種の記載. 追手門学院大学文学部紀要, **(1)**:87-107.
- 八木沼健夫, 1970. 日本の真正蜘蛛類相. 国立科学博物館研究報告, **13(4)**:639-701.
- Yaginuma, T., 1972. The fauna of the lava caves around Mt. Fuji-san IX. Araneae(Arachnida). *The Bulletin of the National Science Museum*, **15(2)**:267-334.
- 八木沼健夫, 1972. 北海道日高山脈の蜘蛛. 国立科学博物館専報, **(5)**:17-32.
- 八木沼健夫, 1977. 日本産真正蜘蛛類目録(1977年改訂). *Acta arachnologica*, **27(special number)**:367-406.
- Yaginuma, T., 1979. A study of the Japanese species of Nesticid spiders. *Faculty of Letters Review Otemon Gakuin University*, **(13)**:255-287.
- 八木沼健夫, 1986. 原色日本クモ類図鑑. 305pp., 64pls. 保育社, 大阪.
- 八木沼健夫・平嶋義宏・大熊千代子, 1990. クモの学名と和名 その語源と解説. 287pp. 九州大学出版会, 福岡.
- 山川 守・熊田憲一, 1973. 丹沢山塊の真正蜘蛛類. *Atypus*, **(60)**:31-54.
- 山川 守・熊田憲一, 1979. 丹沢山塊の真正蜘蛛類 II. *Atypus*, **(74)**:1-14.
- 保田信紀, 1985. 上川町(大雪山・石狩川源流地域)の真正蜘蛛類ノート VI (総目録). 上川町の自然, 生物目録集 pp.93-104.
- 保田信紀, 1991. 大雪山高山帯のコモリグモ類(予報). 上川町の自然, **15**:1-14.
- 保田信紀, 1991. 北海道の高山に生息する真正蜘蛛類 I(日高山系幌尻岳). 上川町の自然, **15**:27-31.
- 保田信紀, 1991. 北海道の高山に生息する真正蜘蛛類 II(羊蹄山). 上川町の自然, **15**:33-40.
- 保田信紀, 1992. 北海道の高山に生息する真正蜘蛛類 III(利尻山). 上川町の自然, **16**:45-50.
- 吉田哉, 2003. 日本産ヒメグモ科総説. 223pp. 日本蜘蛛学会, 大阪.
- Yoshida, M., 1999. Spinnerets silk spigots morphology of Araneidae, Tetragnathidae, Theridiidae and Linyphiidae(Araneae:Araneoidea). *Acta arachnologica*, **48(1)**:1-22.

A

- Achaearanea angulithorax* 92  
 — *asiatica* 94  
 — *culicivola* 92  
 — *ferrumequina* 93  
 — *japonica* 94  
 — *kompirensis* 95  
 — *oculiprominentis* 95  
 — *ryukyu* 91  
 — *tabulata* 93  
 — *tepidariorum* 91
- Aculepeira matsudae* 185
- Acusilas coccineus* 185
- Agelena labyrinthica* 57  
 — *limbata* 56
- Agroeca kamurai* 267  
 — *montana* 267
- Agyneta nigra* 130
- Alcimochthes limbatus* 247
- Allagelena opulenta* 57
- Alopecosa hokkaidensis* 60  
 — *pulverulenta* 59  
 — *virgata* 59
- Amaurobius flavidorsalis* 41
- Anahita fauna* 230
- Anelosimus crassipes* 96  
 — *iwawakiensis* 96
- Antrodiaetus roretzi* 24  
 — *yesoensis* 24
- Anyphaena ayshides* 274  
 — *pugil* 274
- Aprifrontalia mascula* 130
- Arachnura logio* 184
- Araneus abscissus* 194  
 — *boreus* 189  
 — *diadematus* 190  
 — *ejusmodi* 194  
 — *ishisawai* 188  
 — *macacus* 187  
 — *marmoreus* 193  
 — *mayumiae* 190  
 — *mitificus* 195  
 — *nojimai* 196  
 — *ogatai* 197  
 — *pentagrammicus* 195  
 — *pinguis* 192  
 — *ryukyuanus* 197  
 — *semilunaris* 191  
 — *seminiger* 188

- *stella* 198  
 — *tsurusakii* 196  
 — *uyemurai* 187  
 — *variegatus* 189  
 — *ventricosus* 186  
 — *viridiventris* 191
- Araniella yaginumai* 186
- Arctosa cinerea* 63  
 — *depectinata* 60  
 — *ebicha* 61  
 — *fujiii* 61  
 — *kawabe* 62  
 — *subamylacea* 62
- Arctiphantes digitatus* 131  
 — *tamaensis* 131
- Argiope aemula* 213  
 — *aetheroides* 214  
 — *amoena* 212  
 — *boesenbergi* 213  
 — *bruennichii* 215  
 — *minuta* 214  
 — *ocula* 215
- Argyrodes bonadea* 97  
 — *cylindratus* 98  
 — *kumadai* 98  
 — *miniaceus* 99
- Ariadna insulicola* 27  
 — *lateralis* 27
- Ariamnes cylindrogaster* 97
- Asceua japonica* 86
- Asemonea tanikawai* 284
- Asianellus festivus* 284
- Asperthorax communis* 132
- Atypus karschi* 25

B

- Badumna insignis* 42
- Bassaniana decorata* 240
- Bathyphantes gracilis* 132  
 — *robustus* 133  
 — *tateyamaensis* 133
- Boliscus tuberculatus* 241
- Bristowia heterospinosa* 285
- Brommella punctosparsa* 40

C

- Callilepis nocturna* 259  
 — *schuszeri* 259
- Callobius hokkaido* 41

- Calommata signata* 25
- Carrhotus xanthogramma* 285
- Castianeira shaxianensis* 268
- Ceratinella brevis* 136
- Cheiracanthium erraticum* 276  
 — *eutittha* 275  
 — *japonicum* 275  
 — *lascivum* 276  
 — *unicum* 277
- Chorizopes nipponicus* 216
- Chrosiothes sudabides* 101
- Chryso albipes* 103  
 — *argyroformis* 103  
 — *foliata* 102  
 — *scintillans* 102  
 — *spiniventris* 104  
 — *vesiculosa* 104
- Cicurina japonica* 51
- Cladothela oculinotata* 260
- Clubiona corrugata* 277  
 — *deletrix* 281  
 — *japonica* 281  
 — *japonicola* 278  
 — *jucunda* 280  
 — *kurilensis* 278  
 — *lena* 279  
 — *riparia* 282  
 — *rostrata* 279  
 — *tanikawai* 283  
 — *vigil* 280  
 — *viridula* 282  
 — *zilla* 283
- Coelotes antri* 53  
 — *exitialis* 51  
 — *kitazawai* 52  
 — *yaginumai* 52
- Coleosoma blandum* 105  
 — *octomaculatum* 105
- Comaroma maculosum* 160
- Conoculus lyugadinus* 160
- Coriarachne fulvipes* 249
- Coscinida japonica* 111
- Crossopriza lyoni* 32
- Crustulina guttata* 106
- Crustulina sticta* 106
- Ctenus yaeyamensis* 230
- Cybaeopsis typica* 42
- Cybaeus mellottei* 49  
 — *nipponicus* 48  
 — *shinkaii* 49